

## 第3学年 総合的な学習の時間学習指導案

1. 日時・場所 令和元年12月6日(金) 4校時 第1・第2音楽室
2. 単元名 「金管バンドにちょうせんしよう」(全65時間 本時40時間目)
3. 単元目標

金管バンドの練習を通して、音楽の要素をもとに曲想について話し合い、よさを認めたり、意見を述べたりして試行錯誤しよりよい表現を粘り強く追究できる。

難しいことにもあきらめずに挑戦し、お互いに助け合いながら仲間とともに活動し、一つのものを作りあげることのよさに気づくことができる。

4. 「ひびきあう三の丸の子どもたち」にせまるために

研究課題「子どもが解決したい問題を持ち、友だちとひびき合いながら学習する子どもの育成」  
手だて・・・子どもの願いや思いを見とった単元構想と授業づくり  
中学年ブロックテーマ「追究する力、仲間と支え合う自分」  
・自分の問題をとことん追究する姿 ・仲間と協働して追究する姿

### (1) 児童の実態

#### <3年生の子どもたち>

**3年生の子どもたちは、困ったことや問題に対してみんなで解決していこうと考えることができるクラスである。**クラスでの遊びを係が計画すると、みんなでその遊びをして楽しむことができる。そこでトラブルや悲しい思いをする子がいると分かると、遊びが終わった後に「先生、反省会の時間をもらっていいですか?」と、こちらが指示しなくても係が中心となって話し合うことができる。そこでの話し合いは、何が良くなかったのか、どうしたらみんなが楽しむことができるか、一人ひとりがしっかり考えることができている。反省会も、最初のころは嫌だったことだけをとにかく言い合うだけの話し合いだったが、最近では、されてうれしかったことやもっとこうしてほしいなど、建設的な話し合いが少しずつできるようになってきた。しかし、まだ自分の思い通りにならないと怒って喧嘩になってしまったり、「つまないからやめた。」といって途中で投げ出してしまったりする子どももあり、クラスが一丸となってまとまるのが難しいときもある

学習に対しても意欲的で、「どうしてだろう?」と疑問に思ったことを解決しようと一生懸命考えることができる。解決するために「調べてみたい」という気持ちが強く、算数の長さの学習では、学校から1km先はどこになるかを実際に測って調べたこともあった。前向きに取り組むことができる子どもたちが多い反面、「失敗したらどうしよう」「間違えたら嫌だな」という気持ちが強く「やってみよう」という気持ちが弱い子どももいる。粘り強く取り組む姿勢にはまだまだ課題が見られる。

#### <聴く・話すについての指導>

聴くときは、「反応して」「自分の考えと比べながら」「最後まできちんと真剣に」、話すときは「みんなの方を向いて」「みんなが聞いているかたしかめながら」など、年度当初に「3年1組の聴く・話す」としてクラスのルールを話し合って決めた。

「聴く」については、4月のころに比べ反応がよくなり、様々な意見に「お～! たしかに。」「でも…。」など、話をきちんと聴いている様子が見られる。しかし反応が早すぎて、友だちの話などを最後まで聞

かずに話し出してしまうため、一番言いたい大事なことが分からずに何度も同じことを話しなおしてもらわなければならない場面が見られる。さらに、その反応した内容で話が盛り上がってしまうことにより、本来話すべきことから逸れてしまうなど、「最後まできちんと真剣に」というルールについてはまだまだ課題が残るところである。また、「最後までしっかり聴くことが友だちを大切にしていることにもつながっている」ということも常に伝えている。

「話す」については、「間違えても大丈夫」という雰囲気づくりを大切に、取り組んできた。そのため、手を挙げたが「やっぱりいいや。」と言って話すのをやめてしまった友だちに対して「いいよ、言ってみて。」「間違ってもいいよ。」と、周りの子どもたちが優しく受け止める姿がよく見られるようになってきた。一度話すのをやめた子どもたちも、その言葉を聞いて再び話すことができるなど、クラスの友だちの声かけに背中を押してもらい、自分の意見を伝えることができる子どもたちが増えてきた。しかし、そういう雰囲気の中でも、そもそも自分の考えを持つことが難しかったり、考えを持つことができても表現することをためらってしまったりする子どももいる。友だちの意見を参考にして自分の考えを持てるようにしたり、「考え中。」や「今、悩んでいる。」「〇〇さんと同じで△△。」などを自分の言葉で言ったりすることで、少しずつみんなに伝える練習をしている段階である。

#### <これまでの関わり合い・ひびき合い>

4月当初から「ひびき合うための話し方」について学年で相談し、係活動や学級会、学習の場面での話し合いのときなど、あらゆる場面で取り組んでいる。

##### 【ひびき合うための話し方】

- ① 意見・アイデアを出す（種をまく） →否定しないで聞く。
- ② 意見を広げる（芽を出す） →それはどうかな？などよりよくなるための考えを出す
- ③ 自分の考えを深め確かなものにする・変化させる（芽を伸ばし、花を咲かせる）  
→やっぱり自分の考えでよかったんだ。  
〇〇さんの意見を聞いて考えが変わった。

どんな場面においても、話し合う場面になると子どもたちは「まずは種をまこう！」と、ひびき合うための話し方の順序に基づいて、みんなで解決しようとする姿がみられるようになってきた。

社会科の「わたしたちの市」についての学習では、「小田原市は果樹園と果樹園に挟まれているのはなんでだろう？」という問題が子どもたちから挙がり、話し合うことになった。いろいろな予想が出たあとに、「僕、〇〇くんの意見を聞いて自分の考え変わった。だってさ・・・。」と、予想の段階から自分の考えを変容させていく子どもの姿も見られた。一方で、やはり**自分の考えを持ってずに困っている子どもの中には見られた。そういう子どもたちには、友だちの意見を聞いていいなと思ったものやなるほどと思ったものに対して、自分の言葉で考えを表現できるようにするなど、話し合いを通して自分を高めたり、自分を変容させたりすることの良さを味わえるようにしている。**

## (2) 単元と指導

### <単元について>

#### ① テーマ設定までの流れ

子どもたちは、3年生になって初めての総合の学習にとっても興味・関心を持って取り組んでいる。当初は、とにかく自分がやりたいことを自由になんでもできると考えている様子だった。総合では、いろいろな教科を使い、みんなで協力してでき、長い時間をかけて取り組めるものをテーマにすることが条件であることを知った子どもたちは、どんなことをテーマにしたらよいか真剣に考え始めた。今までの3年生の実践を教えたり、他校や他県の事例を見せたり、子どもたちが幅広く考えられるようなテーマを提示したところ、子どもたちの心に響いたのがマーチングの映像だった。もともと音楽が好きなクラスであったため、マーチングの人たちが使っている楽器にとっても興味をもち、やってみたいと

いう声が次々に挙がった。「金管ならみんなでできるし、練習しなきゃいけないから長く取り組めるね。」  
「教科も音楽でしょ？楽器を修理するなら図工かな？」と金管バンドなら総合の条件にも合っていると  
考えた。「難しそう、できるのかな？」と不安に感じている子どもも中にはいたが「だからこそみんな  
で挑戦しようよ！」と、クラスの気持ちが一つになり金管バンドに挑戦することに決まった。

## ② テーマ設定の理由

**3年生の子どもたちは音楽が大好きである。**音楽の授業では一人でもいろいろな歌を歌ってみんなに  
紹介するなど、とても楽しそうに取り組んでいる。音楽が流れると自然に体を揺らし、いつの間にか歌  
い始めている。「音を楽しむ」という素地がしっかり備わっていると考えられる。3学年の合奏発表では、  
少しレベルの高い難しい合奏に挑戦した。すぐに手が届きそうで届かない、**少し難しいことに挑戦する  
ことで子どもたちの意欲がより高まることを感じた。そのため、金管バンドという少し難しい取り組み  
だからこそ、楽器を通して、友だちと関わり合いながら粘り強く取り組むことができると考えた。**小学  
校3年生で金管楽器を演奏するということは、発達の段階としてできるかどうか不安でもあったが、何  
より子どもたちの「やりたい！」という強い希望があり、その意欲を持続して長く取り組むことができ  
ると考えた。また、金管楽器は誰も触れたことがなく、クラス全員が同じスタートラインに立って始め  
ることができる。金管楽器について知っている子どもが少ないため、「金管楽器ってどんな楽器があるん  
だろう？」「どうやって演奏するんだろう？」など、まず一つひとつの課題をみんなで共有することがで  
きる。そしてその課題についていろいろな方法で情報を集め、伝え合い、みんなで協力して追究してい  
くことが期待できる。さらに、**失敗することが嫌で一步踏み出せない子たちにとっても、みんなが初め  
での挑戦であることから、失敗を恐れずに取り組みやすい。**うまくいかなかったり、難しかったりして  
諦めそうになったりすることもあるかもしれないが、そんなときでも教え合ったり、励まし合ったりし  
てみんなで一つのものをつくりあげることの良さを体感してほしいと考えている。

## <指導について>

総合のゴールは「演奏会を開いてみんなに楽しんでもらおう！」である。発表会に向けて様々なこと  
について、子どもたちは試行錯誤しながら取り組んでいく。一つは楽器との出会いである。自分が選び、  
担当する楽器には責任と誇りをもって取り組むと考えられる。そのため、できないことは「できるよう  
にしたい。上手に演奏できるようになりたい。」と考えるようになり、「どうやったらできるのか？」と  
いう問題が子どもたちに自然と生まれるだろう。ここでは**楽器の演奏の仕方を調べたり、同じパートで  
教え合ったりするなどして解決していくと考えられる。パートの中で、早くできるようになった子が、  
まだできていない子に教えるなど、友だちと関わることの良さが体感できるような場面を設定していく。**

もう一つは、楽曲との出会いである。選曲の際には、「誰のために」という相手意識をもつことを一番  
に考えられるようにしていく。やりたい曲だけを一方的に演奏することは、ただの自己満足になりかね  
ないため、「誰に聞いてもらいたいのか」「どんな演奏会にしたいのか」を常に忘れず考えられるよう  
にしていく。やりたい曲だけをやみくもに演奏するだけではない、聞いていただく人との関わりを大切に  
考えられるように指導していく。また練習の際には、総合のノートに今日の自分の目標を立て、それ  
について毎時間振り返る時間をとる。そこにはできるようになったことや、うまくいかなかったことが自由  
に書けるようにしていく。ノートには教師がしっかりと目を通し、アドバイスできることはコメントを  
入れるようにする。そうすることで、自分の成長や次時への課題を明確にし、意欲が持続できるよう  
にしていく。そこから新たに生まれた問題を全体に共有するなど、子どもたちの声から探究していくこ  
とができるようにノートを活用していく。

練習を重ねていくと、子どもたちから「誰か詳しい人に教えてもらいたい。」という気持ちが表れてく  
ると考えられる。その際には、**近隣の中学校や高校の吹奏楽部の生徒たちや、有志で金管楽器の練習や  
演奏・発表をしている地域の金管バンドの方々などに、吹き方や練習の仕方等を教えていただく。**教  
えていただくことで楽器や楽曲についての理解が深まるなど、専門的な方々と関わることによって初めて  
得られることがたくさんあるであろう。そのような人たちとの関わりも大切にしていきたい。事前に情

報を集めておき、協力いただけそうなところに連絡をとっておくようにする。

子どもたちは練習曲として「聖者の行進」を一番最初に練習し始めた。ある程度演奏できるようになり、ここでの子どもたちの解決したい問題は「もっとかっこよく（または「きれいに」など）演奏するにはどうしたらいいだろう？」である。様々な音楽の要素から、速度・強弱・リズム・音色などを変化させたらかっこよくなるのではないかと考えるだろう。どの要素も変化させたらかっこいいと考えると予想されるが、大半はテンポを速くすることに気持ちが向くと考えられる。そこで、速度に焦点をあて「速度を変えたらかっこよく演奏できるか？」という問題に絞り、みんなで意見を出し合う時間をとる。できるようになった曲は速く弾きたいという気持ちが強く、「速くした方がかっこいい」と考える子どもたちがたくさんいるだろう。しかしその中で、「速くしたらできない」と技術的な問題を訴える子どももいれば、「行進だからそんなに速くしなくていい」と音楽的な表現の問題について訴える子どももいると考えられる。「かっこよく演奏したい」という願いに近づけるために、速度を変えるか変えないかということが、切実に考えたい問題となっていくだろう。

本時では、速さの違う模範演奏を聞き比べたり、実際に演奏してみたりすることを通して、「曲想」と「自分たちの実力」に合った速さについて考えようとする姿をひびき合いの姿としていきたい。どのようにしたいかを考え、表現することが難しい子どもには、同じ意見や似ている意見などから見つけられるように声をかけ支援していく。また、できるようになった曲はどんどん速く演奏したいという思いも考えられるため、技術的には難しいが全員が速度を速くしたいと考える場合も予想される。その場合は、速く演奏するためにはどんな練習をしたらよいか、練習方法を考え話し合うようにする。

○金管バンドの練習を通して、音楽の要素をもとに曲想について話し合い、よさを認めたり、意見を述べたりして試行錯誤し、よりよい表現を粘り強く追究できる。  
○難しいことにもあきらめず挑戦し、お互いに助け合いながら仲間とともに活動し一つのものを作りあげることのよさに気づくことができる。

総合って何だろう？①②

- ・総合ってどんなことするのかなあ？
- ・楽しみだなあ。
- ・去年アリーナでどこかのクラスが発表してたよ。
- ・あれが総合だったんだ！
- ・楽しそうだね！

【総合】はどんなことをテーマにしてもよいが、  
・いろいろな教科の力を使ってやりとげるもの  
・みんなで協力し、自分たちの力でのりこえながら活動できるもの  
・長い時間をかけて追求しやりとげるもの  
の3つの条件を満たすものであることを伝える。

＝ ＝ ＝ ＝ ＝  
総合の実践や事例を見たり聞いたり調べたりして、自分たちの力でできそうな課題を考えることができる。  
【課題設定力】

テーマを決めよう！③④⑤

- ・僕はおげげやしきやりたい！ → でも長い時間かけてできないよ？すぐに終わっちゃうよ。
- ・海の生き物について調べたいな。 → いいね。でも調べたあとどうするの？
- ・パソコンを使って何かやりたい。 → みんなでできることってどんなことがあるのかなあ？
- ・海の波はどうやってできるの？ → 調べたらすぐ終わっちゃうよ。
- ・歌を歌おうよ！ → いいね！みんなでできるし。3年1組は歌好きだもんね！音楽の授業でやっている歌コンクールをもっとやろう！
- ・楽器をやりたい！ → さっきビデオでどこかの学校がやっていたよ！あれはなんていう楽器かなあ？  
金・・・なんとか楽器って書いてあったね。僕たちにもできるのかな？  
かっこいいなあ。楽器あるのかな？  
これ吹けたらいいな！
- ・何かいいかなあ？
- ・わくわくするね！！

・事例を紹介したり、実践動画を見たりしてテーマを決めるためのヒントを与える。  
・総合の3つの条件から外れないよう声をかける。

三の丸小学校の音楽室にも金管楽器があることを伝える。

- ・そうなのー？
- ・すごい！見たい見たい！
- ・見に行こうよ！
- ・音楽室のどこにあるの？
- ・ちっちゃい部屋のとこじゃない？

金管バンドをやろう！⑥

- ・これならみんなで一つのことができるね！
- ・練習したら長くできるし。
- ・みんなで協力して演奏できるね！
- ・ホールを借りて演奏会をしようよ！
- ・老人ホームに行って演奏しようよ！
- ・最後には絶対みんなで演奏会したい！
- ・演奏は音楽だし、招待状は国語だし、楽器修理したら図工になるのかな？いろいろな教科を使える！
- ・そういえば楽器どうするの？
- ・使えそうなものもあったよ！音が出たもん！
- ・楽器はどうしよう？
- ・学校のおほとんど使えないよ！
- ・でも少ないよ！これじゃできない・・・。

最後にいろいろな人を招待して演奏会がしたいという願いにゴールを据え、練習などの様々な活動に取り組めるようにする。

音楽室の楽器を見てみよう！

- ・たくさんあるね！
- ・うわっ！カビだらけだ！
- ・あ！音が出た！すごい！
- ・僕にも貸して！
- ・金管バンドをやろうよ！
- ・これ使えるのかな？
- ・楽しそう！
- ・やってみたい！
- ・これ吹けたらいいな！

楽器を貸してもらうためにはどんな風に呼びかけたらいいのかな？⑨⑩⑪

- ・まず、家の人に持っていないか聞いてこようよ！
- ・あと親せきの人とか、近所の人にも聞いたら聞いてみよう！
- ・学校の人は？先生とか？
- ・みんなでポスター書いて貼ろうよ！
- ・じゃあ一緒にチラシも書いて配ったらどう？
- ・早く作ろうよ！
- ・放送で聞いてみたらどうかな？
- ・小田原の広報で流したらたくさんの方が聞いてくれるよ！
- ・でも・・・できるのかな？
- ・校内放送で聞いてみたら？
- ・お昼の校内放送で全校の人と先生に呼び掛けてみようよ！
- ・それならすぐにできそうだね！
- ・原稿を考えないと！
- ・早く書こう！

楽器をそろえるためにはどうしたらよいのだろう？⑦⑧

買う	修理する	借りる
<ul style="list-style-type: none"> <li>・買ったらいいの。</li> <li>・いくらくらいするのかなあ？</li> <li>・すごく高いよ！</li> <li>・誰か払うの？お小遣いじゃ無理だよ、買えない！</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校に今ある楽器を修理して使おうよ！</li> <li>・どうやって直すの？</li> <li>・楽器屋さんとか専門の人に直してもらおう！</li> <li>・お金がかかるんじゃないかな？</li> <li>・自分たちで調べて直そうよ！</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家や親せきや近所に持っている人がいないか聞いて貸してもらおう。</li> <li>・吹奏楽部っていうのが中学とか高校にあるからそこから貸してもらえないかな？</li> <li>・ヤマハで借りられるって言ってたよ？</li> <li>・無料で貸してくれるの？</li> <li>・いろいろな人に聞いてみようよ！</li> </ul>

使えそうな楽器が使い、修理に関しては楽器店に見積もりを出してもらうようにする。

なぜ必要か、どんな楽器が必要か、いつまでに必要かなど、呼びかけるために必要なことを全体と一緒に確認し、チラシやポスターを作ったり、校内放送の原稿を考えたりするときには落ちのまないようにする。

### ポスター、チラシ、校内放送で呼びかけよう！⑫⑬

- ・ポスターはどこに貼ったらいいかな？
- ・目立つところがいいよね？
- ・黒門と白門に貼ったら？
- ・勝手に貼っていいのかな？
- ・チラシは夏休み中に親せきとかにも配って呼びかけよう！
- ・楽器がたくさん集まるといいなあ。
- ・チラシもできたからみんなで配ろう！
- ・ちゃんとお願いしながら渡すといいね！
- ・校内放送の原稿もできたからあとは放送だ！
- ・担当の先生に聞いてみよう！

- ・校内放送のお願いに行くことや、ポスターを貼っているのかなど、事前に担当の先生に確認をとっておく。
- 【夏休み中】
- ・学校にある楽器で使えそうなものから修理する。
- ・楽器を借りられそうなところからある程度借りておく。

作ったチラシを配ったり、ポスターを貼ったり、校内放送を行ったりすることによって、家族や親戚、地域の人々に積極的に呼びかけ、関わるができる。【人やものとかかわる力】

### どんな楽器がどれだけ集まったかな？⑭

- ・わ〜結構集まったね！
- ・早く吹きたいな〜！
- ・ピカピカにしたいよ。
- ・学校のはカビが・・・。
- ・これじゃ吹けないね。
- ・楽器をきれいにしよう！

### 楽器をきれいに手入れしよう！⑮⑯

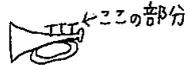
- ・どうやってやるの？
- ・先生教えて！
- ・この液体みたいなのは何？
- ・早く吹きたい！

総合の学習のために快く貸してくださった方がいることを伝え、大切に使うことを全体で確認する。

### 楽器を吹いてみよう！⑰

- ・難しい！！
- ・音が出ない！！
- ・吹けない！
- ・ちょっと音が出たよ！
- ・でも一つの音だけ・・・
- ・どうやったら吹けるの？

- ・どうやって動かすの？



### どうやったら吹けるのかな？

- ・全然吹けないよ・・・。
- ・ここの動かし方を知りたい！
- ・吹き方を教えてほしい！
- ・誰か教えてくれないかな？
- ・楽器屋さんとか専門の人に聞いたらいいんじゃないかな？

### 誰に教えてもらったらいいのだろう？⑱

- ・前に言っていた中学とか高校の吹奏楽部の人はどう？
- ・楽器屋さん聞いてたら？
- ・楽器を貸してくれた親せきの人はどうかな？

・子どもからあがった場所に事前に教えていただけるか確認の連絡をする。  
・ボランティアに来ていただけるか聞く。  
・練習の様子をみて、できそうな曲をいくつかピックアップしておく。  
・いつでもすぐに練習できる環境を整えておく。

### 城山中学校の吹奏楽部の人に楽器の吹き方を教えてもらおう⑲⑳

- ・こうやって吹くのか。
- ・難しいなあ。
- ・指づかいが難しい。
- ・こういう練習をしたらいんだね！
- ・こうやって動かすんだね！
- ・吹き方はわかってきたよ！

ロングトーン、タンギングなど基礎練習の基礎から教えてもらえるようにする。

### 教えてもらった練習をしよう！㉑㉒㉓

- ・こうやって動かすんだってよかったね！
- ・「ド」ってどんな指づかいだったっけ？
- ・動かし方も教えてもらったもんね。
- ・基礎練習から始めよう！
- ・曲を吹きたいな。
- ・音も出るようになったし。
- ・練習してできるようにしよう
- ・音階は難しいな。
- ・銀河鉄道！3-1Vr. で！
- ・「やってみよう」は？
- ・Lemonを吹きたいな
- ・どんな曲にする？

楽器の使い方や手入れの仕方を、インターネットや本、人に聞いて調べることができる。【情報収集能力】  
城山中学校の吹奏楽部にお問い合わせする活動や実際に楽器の吹き方や練習の仕方を教えていただくことを通して、地域の人と積極的にかかわることができる。【人やものとかかわる力】

### どんな曲が吹きたいかな？(選曲) ㉔㉕㉖

- ・やりたい曲をあげていこうよ。
- ・自分たちの好きな曲
- ・いいね！絶対Lemonがほしい！
- ・千本桜！
- ・USAだよ！
- ・でもやりたい曲ができるのかな？
- ・難しそうだよ？
- ・千本桜は速すぎて指動かせないよ！
- ・みんなが好きな曲がいいんじゃない？
- ・みんなが知ってて吹ける曲にしたら？
- ・誰を呼ぶんだっけ？
- ・家の人、地域の人・・・
- ・みんなに喜んでもらえる曲がいいね
- ・やっぱりみんな知ってる曲がいいよ
- ・感謝の気持ちを伝えたい
- ・「ありがとうの花」はどうか

目指すゴールは最後の発表会であることを確認し、誰のために演奏するのかを考えながら選曲できるようにする。  
相手意識をもって考えられるように声をかける。

### まずは決めた曲を練習してみよう！㉗〜㉙

- ・トランペットで集まって！
- ・パート練習しよう！
- ・中休みも練習しよう！
- ・マウスピースで練習しよう。
- ・ここの指はどうやるんっけ？
- ・唇が痛い・・・
- ・頭がくらくらしてきた
- ・みんなで合わせてみようよ！
- ・高い音が出ない・・・
- ・スライドのポジションが分からない。
- ・リズムは合ってる？
- ・できるようになってきた！
- ・楽しい！
- ・なんかいい感じ！
- ・もっと速くしようよ！
- ・テンポをあげた方がカッコいいかも
- ・速くしたい！
- ・カッコよく吹きたい

ボランティアの方など、協力していただける方がいたら募る。

難しい部分を繰り返し練習したり、できない部分をできるようにしようとして取り組んだり、課題に対して前向きに取り組もうとすることができる。【問題解決能力】

「聖者の行進」をもっとかっこよく演奏するにはどうしたらいいだろう？（本時）④⑩

速度	強弱	リズム	音色
<ul style="list-style-type: none"> <li>速くした方がいい!</li> <li>かえない方がいい</li> <li>速いときれいに聞こえない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>もっと強く吹いたらいいと思う</li> <li>最初は弱くしてだんだん強くなりました?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>もっと歯切れよく、はっきりした方がいいと思う。</li> <li>タッタタッタって感じで</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふわっとした感じじゃなくて、ちゃんとパリっとした感じの音。</li> <li>ハキハキした感じの音がいい。</li> </ul>

- どれもいいよね!
- 全部やったらかっこいいんじゃない?
- 全部できるかな?
- 速く吹きたいけど、できるかな?

速度を変えたらかっこよく演奏できるかな?

速度を速くする

- 絶対かっこよくなるよ!
- 絶対速い方がいい!
- トランペット吹きの休日は速くてかっこよかったじゃん!
- でももっときれいに聞こえない? ▲音があまりきれいじゃない

速度を変えない

- 今ぐらいでちょうどいい
- 「行進」だからそんなに速くしない
- 歩くくらいの速さがいい
- 速いってどれくらい?

ゆっくりにする

- 音がきれいにひびく
- ていねいに演奏できる
- しっぺいが少ない
- ▲あんまりかっこよくない

模範演奏を聴けるように用意しておく。  
メトロノーム(ハーモニーディレクタ)を用意しておき、テンポを比べられるようにしておく。

とにかく「速く」すればいいと考えている子どもは、速くするにはそれなりの技術がいることや、曲にふさわしいテンポがあることに気づけるようにしたい。  
速くしたいけれど技術が追い付かないと考えている子どもは、吹けないからできないではなく、どうしたらできるかを考えられるようにしたい。

実際に演奏し、テンポによる曲想の違いを感じ取りながら比べ、曲の雰囲気と自分たちに合ったテンポを決めることができるようにする。  
強弱・リズム・音色などその他の音楽の要素に着目し変化させたいとなったときは、子どもの願いに沿って進める。

- やっぱり速い方がかっこいいよ
- 速くしすぎなければいいのかな?
- 吹ける限界の速さまで速くしてみたら?
- 今までの速さは音があまりきれいじゃないな
- でもゆっくりなのはかっこよくないし・・・
- ちょっと1回吹いてみようよ!

(模範演奏を聴く)

- 無理だよ、あんなに速く吹けないよ
- 難しいからできないよ

自分たちの演奏を聴いたり、模範演奏を聴いて比べたりして現状を理解しどのように表現し、練習したらよいか考えることができる。【情報収集能力】

(♪テンポを変えて1回吹く)

- すごく速くしたかったけど・・・
- ちょっと難しかったな。
- 確かにこんな風に速く指動かさないと、音はやっぱりきれいじゃないよ
- 速いと音もきれいじゃないよ
- ちょっと速かったかな。
- 今までのテンポは吹きやすいよ
- 音はやっぱりきれいじゃないよ
- もうちょっと速い方がいいかな?
- ゆっくりで吹きやすいね
- ちょっと遅すぎない?
- もうちょっと速い方がいいかな?

速すぎず、遅すぎず、曲に合っていてみんなできれいに演奏できる速さにできないかな?

♩=125

♩=115

♩=95

- ♩=125は速すぎて追いつかないけど、♩=95は遅いからなあ。
- ♩=115は今までと同じで吹きやすいけどきれじゃない!
- ♩=115より少し遅くて、♩=95より少し速いくらならどうかな?
- ♩=115と♩=95の間のテンポだね。
- ちょっと吹いてみようよ
- (♪100~110くらいで1回吹く)
- いいね!!
- これなら今までよりかっこよくなりそう
- もう1回吹きたい
- 今までよりいい感じ!
- このテンポでいいよ!
- 音がきれいになった
- もっときれいに演奏したい!

他の曲もかっこよく演奏するにはどうしたらいいかな? ④①~⑤⑤

- 同じように速さを変えてみたらどうかな?
- 今度は強弱も変化させてみようよ!
- もっと練習しないと無理だ~!
- まだできていないところもあるし・・・

様々な音楽の要素をつかって語り合えるようにする。

- たくさん練習したからいろんな曲が吹けるようになったよ!
- 演奏会に向けて頑張ろう!
- どの順番で演奏しようか?
- たしかに・・・どんな演奏会にする?

どんな演奏会にしようかな? ⑤⑥⑤⑦

- 曲順決めなきゃ!
- 誰を呼ぶ?招待状を書かないと!・すごいって思ってもらいたい
- どんな演出をしよう?
- お客さんに楽しんでもらいたいね

お客さんに喜んでもらうにはどうしたらいいだろう? ⑤⑧~⑥②

プログラム

- どんな順番にする?
- 元気なから始めたいな!
- お客さんはどう思うかな?
- 楽器の紹介したらどうかな?

招待状

- 誰に書く?
- 家の人、地域の人、学校の先生・・・
- 楽器を貸してくれた人
- 招待状ってどうやって書くの?
- 国語でやったよ!・チケットも作る?

選曲のときと同様に、聴いているお客さんにどんな気持ちになってほしいのか、相手意識をもって考えられるようにする。

♪金管バンド演奏会 ~自分たちの思いを伝えよう~ ⑥③

演奏会を終えて・・・1年間を振り返ろう ⑥④⑥⑤

- 楽しかった~!
- 難しかったけれどやってよかった!
- みんなできてよかった!
- 音楽って楽しいな!
- お母さんがすごかったて言ってくれたよ!
- 友だちがいいな~って言った。
- OO先生がほめてくれたよ!
- 借りた楽器はきちんと手入れをして返そう!

表現することの楽しさ、みんなで一つのことをできるよさに気づけるように1年間を振り返る。  
お借りした楽器はきれいに手入れをして返す。

今までの練習の成果を発揮し、みんなで考えたことが表現できる。【表現力】

本時について

(1) 本時目標 「どうしたらもっとかっこよく演奏できるか」について、音楽の要素をもとに話し合い、見本を聴いたり、実際に演奏したりすることを通して、自分たちが目指す曲想に合った表現を、粘り強く追究することができる。

(2) 本時展開

学習活動	主な支援・留意点 ◇評価
<p data-bbox="114 371 1102 424"><b>「せい者の行進」をもっとかっこよくえんそうするにはどうしたらいいだろう？</b></p> <p data-bbox="107 472 1552 608"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">速度</span>・速くした方がいい              ・かえない方がいい              ・速いときれいに聞こえない  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">強弱</span>・強くした方がいい              ・メロディは強くする              ・打楽器は弱めに  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">リズム</span>・歯切れよくした方がいい              ・最初は音を切って  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">音色</span>・きれいに              ・ガサガサしない              ・なめらか           </p> <p data-bbox="129 663 779 716"><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">速度</span>をかえたらかっこよくえんそうできるかな？</p> <p data-bbox="869 655 1223 724" style="text-align: center;">今 ♪ = 1 1 5 くらい</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="163 759 477 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>速くする (♪ = 1 2 5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと速くする</li> <li>・トランペットふきの休日みたいに</li> <li>・できるかぎりの速さにする</li> <li>▲もっときれいに聞こえない</li> </ul> </div> <div data-bbox="674 759 983 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>かえない (♪ = 1 1 5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今ぐらいでちょうどいい</li> <li>・行進曲 → 歩くくらいの速さ</li> <li>・えんそうしやすい</li> <li>▲音があまりきれいじゃない</li> </ul> </div> <div data-bbox="1176 759 1543 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ゆっくりにする (♪ = 9 5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音がきれいにひびく</li> <li>・ていねいにえんそうできる</li> <li>・しっばいがすくない</li> <li>▲あまりかっこよくない</li> </ul> </div> </div> <p data-bbox="327 1050 1234 1086" style="text-align: center; border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;">曲に合わせて、みんなできれいにえんそうできる速さにしよう</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="277 1123 421 1174" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>♪ = 1 2 5</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かっこいい</li> <li>・ちょっと速すぎる</li> <li>・きれいじゃない</li> </ul> </div> <div data-bbox="757 1123 900 1174" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>♪ = 1 1 5</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふきやすい</li> <li>・ちょっと速い</li> <li>・やっぱりきれいじゃない</li> </ul> </div> <div data-bbox="1205 1123 1326 1174" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>♪ = 9 5</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆっくりで吹きやすい</li> <li>・もうちょっと速いほうがいい</li> <li>・ちょっとおそい</li> </ul> </div> </div> <p data-bbox="891 1369 1420 1406" style="text-align: center;">間くらいの速さ ♪ = 1 1 0 ~ 1 0 0 ?</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な観点から話し合うことができるように音楽の要素をホワイトボードに貼っておく。</li> <li>・今まで音楽の授業で学習してきた鑑賞の内容が想起できるよう掲示物を貼っておく。</li> <li>・話し合いに参加することが難しい子どもには、どの音楽の要素について話し合っているか個別に声をかけ支援する。</li> <li>・実際に演奏してみたり、見本の演奏を聴いたりしてどのテンポが一番良いかみんなでも話し合うことができるようにする。</li> <li>・どのようにしたいかを考え表現することが難しい子どもたちには、同じ意見や似ている意見などから自分の考えを持てるように声をかけ支援する。</li> <li>・テンポが明確に分かるようにメトロノームやそれぞれのテンポで演奏した見本のCDを用意し、どのテンポが一番いいか考えるヒントとなるようにする。</li> </ul> <p data-bbox="1581 1246 2134 1374">◇見本を聴いたり、実際に演奏して聴き比べたりして現状を理解し、どのように表現し練習したらよいか考えることができる。</p> <p data-bbox="1621 1390 2011 1422" style="text-align: center;"><b>【情報収集能力・課題追究能力】</b></p>